



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社 上場取引所 東
コード番号 2810 URL <https://housefoods-group.com>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）浦上 博史
問合せ先責任者（役職名）広報・IR部長（氏名）仲川 宜秀（TEL）03-5211-6039
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満四捨五入）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	225,697	9.7	16,669	16.4	17,599	13.2	16,362	41.0
2023年3月期第3四半期	205,819	7.2	14,324	△15.2	15,542	△16.1	11,606	△13.1

（注）包括利益2024年3月期第3四半期 28,616百万円（64.8％） 2023年3月期第3四半期 17,366百万円（15.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	167.74	—
2023年3月期第3四半期	118.39	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	428,633	323,907	68.8	3,021.39
2023年3月期	396,910	301,335	68.6	2,791.56

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 294,726百万円 2023年3月期 272,285百万円

（注）第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2024年3月期	—	23.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	302,800	10.1	20,000	19.9	21,200	15.8	18,000	31.7	185.04

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	100,750,620株	2023年3月期	100,750,620株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,204,208株	2023年3月期	3,212,078株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	97,543,852株	2023年3月期3Q	98,038,460株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	13
(1) 業績の状況	13
(2) グループ会社数	13
(3) 連結損益計算書の状況	14
(4) 連結貸借対照表の状況	18
(5) 設備投資の状況	19
(6) 減価償却費の状況	19
(7) 主要経営指標等	19
(8) 参考情報	20

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第七次中期計画の最終年度にあたる当第3四半期連結累計期間は、原材料価格の高騰、経済活動の再開に伴う市場環境の変化、インフレ進行に伴う消費者の行動変容など事業環境の変動は大きく、引き続き先行きの不透明な状況が続いております。

当社グループは、原材料費などコストアップ圧力に対して国内外グループ各社が価格改定や効果的なコスト運用を進めるなか、海外食品事業は各展開エリアの市場環境変化を受け大幅な減益となりましたが、他の4つの事業は増益となりグループ連結トータルは増収増益となりました。経常利益は増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社連結子会社であるハウス食品(株)における退職給付制度の改定に伴う特別利益を第1四半期連結会計期間に計上したことから、増益となりました。

なお、当社グループは2022年9月30日付で米国キーストーンナチュラルホールディングス社を企業結合しておりますが、第1四半期連結会計期間に同社取得原価の配分(PPA)が完了しており、前年同期との比較・分析にあたっては、PPAの内容を反映させた金額を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご参照ください。

これらの結果、当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

	2024年3月期 第3四半期	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	225,697	109.7
営業利益	16,669	116.4
経常利益	17,599	113.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,362	141.0

セグメント別の経営成績の概況(セグメント間取引消去前)は、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	売上高		営業利益 (セグメント利益又は損失(△))	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	96,086	105.5	8,630	127.5
健康食品事業	13,327	101.8	2,296	120.8
海外食品事業	41,937	119.9	2,284	51.1
外食事業	41,158	116.3	2,902	219.9
その他食品関連事業	40,936	106.7	1,567	191.5
小計	233,445	109.7	17,678	115.7
調整(消去)	△7,748	—	△1,009	—
合計	225,697	109.7	16,669	116.4

(注) 1. 調整(消去)の内容は、セグメントに配分していない損益およびセグメント間取引に係る相殺消去であります。

<香辛・調味加工食品事業>

当事業セグメントの家庭用事業は、前期に引き続き価格改定を実施するとともに、新売価定着に向けた販売バックアップ策の拡充やお客ニーズに対応した製品の投入による需要喚起を図った結果、概ね想定通りに販売回復が進んでおります。業務用事業は、本年4月より新生ハウスギャバンとして活動をスタートするなか、経済活動再開に伴う需要回復に加え2023年9月実施の価格改定もあり回復基調にあります。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は960億86百万円、前年同期比5.5%の増収、営業利益は86億30百万円、前年同期比27.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は9.0%となり、前年同期より1.5pt向上いたしました。

<健康食品事業>

当事業セグメントは、国内事業の収益基盤の確保とグローバルでの機能性素材系バリューチェーンの構築に取り組んでおります。

当事業セグメントは、「ウコンの力」の需要増に加え、主力製品である「C1000瓶製品」や「1日分のビタミンゼリー」の販売に注力し増収となりました。利益面は、効果的なコスト運用に加え増収効果もあり増益となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は133億27百万円、前年同期比1.8%の増収、営業利益は22億96百万円、前年同期比20.8%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は17.2%となり、前年同期より2.7pt向上いたしました。

<海外食品事業>連結対象期間：主として2023年1月～9月

米国豆腐事業は、ハウスフーズアメリカ社（以下、HFA社）の価格改定やキーストーンナチュラルホールディングス社（以下、KNH社）の新規連結などにより増収となりましたが、KNH社買収に伴うのれん等の償却負担や2023年6月に稼働したHFA社新ラインの減価償却負担などを吸収するには至らず減益となりました。

中国カレー事業は、2023年1月以降、景況感悪化に伴う節約志向の高まりなど消費者の行動変容の影響を色濃く受けています。家庭用事業は、消費環境変化を踏まえ、販売間口の拡大を推進する当初計画から費用対効果を重視する計画へシフトチェンジするも、第2四半期連結結果計期間において先行したコスト増を吸収するには至らず増収減益となりました。業務用事業は、新規導入が進んだ一方、前期ゼロコロナ政策下で停滞した事業活動の再開によるコスト増が影響し、増収減益となりました。

タイ機能性飲料事業は、急激な市場環境変化を踏まえ当第3四半期連結会計期間よりブランドコミュニケーションの刷新など新たなマーケティング戦略を展開しましたが、販売に苦戦した第2四半期連結結果計期間の業績低迷の影響が大きく、減収減益となりました。

以上の結果、海外食品事業の売上高は419億37百万円、前年同期比19.9%の増収、営業利益は22億84百万円、前年同期比48.9%の減益となりました。結果、売上高営業利益率は5.4%となり、前年同期より7.3pt減少いたしました。

<外食事業>連結対象期間：(株)壺番屋は2023年3月～11月、海外子会社は2023年1月～9月

当事業セグメントは、既存事業の収益力強化および新業態の育成を推進しております。

国内事業を推進する(株)壺番屋は、経済活動再開に伴う人流回復に加え、メニュー施策や新たなプロモーション活動の効果もあり既存店売上高、客数、客単価すべてが前年同期を上回って推移しました。また、海外事業は、新型コロナウイルス感染症の各種規制がなくなったことなどから多くのエリアで好調に推移しました。

以上の結果、外食事業の売上高は411億58百万円、前年同期比16.3%の増収、営業利益は29億2百万円、前年同期比119.9%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は7.1%となり、前年同期より3.3pt向上いたしました。

<その他食品関連事業>

(株)デリカシェフは、生産性向上の取組が奏功したほか、増収効果もあり増益となりました。

(株)ヴォークス・トレーディングは、価格転嫁が進んだことや高利益率商材の販売注力により増収増益となりました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は409億36百万円、前年同期比6.7%の増収、営業利益は15億67百万円、前年同期比91.5%の増益となりました。結果、売上高営業利益率は3.8%となり、前年同期より1.7pt向上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、4,286億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて317億23百万円の増加となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、現金及び預金、商品及び製品が増加したことなどから、148億48百万円増加の1,697億73百万円となりました。固定資産は、建設仮勘定が減少した一方で、投資有価証券、建物及び構築物、退職給付に係る資産、機械装置及び運搬具が増加したことなどから、168億74百万円増加の2,588億60百万円となりました。

負債は、1,047億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて91億50百万円の増加となりました。

流動負債は、未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金や未払法人税等が増加したことなどから、57億8百万円増加の623億62百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、34億43百万円増加の423億63百万円となりました。

純資産は、退職給付に係る調整累計額が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したこと、為替換算調整勘定が増加したこと、保有する投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて225億72百万円増加の3,239億7百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は68.8%（前連結会計年度末は68.6%）、1株当たり純資産は3,021円39銭（前連結会計年度末は2,791円56銭）となりました。

なお、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度については、取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額を使用しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績につきましては、2023年11月7日発表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,752	67,123
受取手形及び売掛金	50,364	61,998
有価証券	6,000	4,510
商品及び製品	17,006	18,332
仕掛品	3,320	4,129
原材料及び貯蔵品	7,658	8,378
その他	5,908	5,383
貸倒引当金	△83	△81
流動資産合計	154,924	169,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,336	39,821
機械装置及び運搬具(純額)	20,316	24,376
土地	30,334	30,685
リース資産(純額)	1,222	871
建設仮勘定	10,209	4,473
その他(純額)	5,951	6,141
有形固定資産合計	102,368	106,366
無形固定資産		
のれん	7,745	8,629
商標権	18,410	18,162
ソフトウェア	3,935	3,725
契約関連無形資産	18,202	17,602
顧客関連資産	4,609	4,930
ソフトウェア仮勘定	502	619
その他	785	817
無形固定資産合計	54,187	54,483
投資その他の資産		
投資有価証券	59,108	66,739
長期貸付金	8	12
繰延税金資産	799	674
長期預金	1,000	1,000
退職給付に係る資産	18,200	22,888
破産更生債権等	214	171
長期預け金	1,065	1,059
その他	6,422	6,803
貸倒引当金	△1,385	△1,335
投資その他の資産合計	85,431	98,011
固定資産合計	241,986	258,860
資産合計	396,910	428,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,506	23,890
電子記録債務	1,563	1,825
短期借入金	5,452	6,226
リース債務	959	812
未払金	10,327	8,284
未払法人税等	2,320	3,784
賞与引当金	490	244
役員賞与引当金	61	43
株主優待引当金	99	88
資産除去債務	10	9
その他	14,867	17,157
流動負債合計	56,654	62,362
固定負債		
長期借入金	161	154
リース債務	4,080	4,167
長期未払金	181	162
繰延税金負債	22,539	25,886
退職給付に係る負債	6,074	5,839
資産除去債務	1,128	1,151
長期預り保証金	3,771	3,704
その他	987	1,300
固定負債合計	38,921	42,363
負債合計	95,575	104,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	22,829	22,850
利益剰余金	218,106	229,979
自己株式	△9,957	△9,933
株主資本合計	240,925	252,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,907	26,859
繰延ヘッジ損益	△184	89
為替換算調整勘定	5,616	12,398
退職給付に係る調整累計額	5,021	2,535
その他の包括利益累計額合計	31,359	41,881
非支配株主持分	29,050	29,181
純資産合計	301,335	323,907
負債純資産合計	396,910	428,633

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	205,819	225,697
売上原価	132,165	142,990
売上総利益	73,654	82,706
販売費及び一般管理費	59,330	66,037
営業利益	14,324	16,669
営業外収益		
受取利息	200	238
受取配当金	448	488
持分法による投資利益	92	21
受取家賃	657	662
為替差益	204	—
補助金収入	243	—
その他	301	517
営業外収益合計	2,144	1,927
営業外費用		
支払利息	205	163
貸貸費用	517	536
為替差損	—	173
訴訟関連費用	34	15
その他	169	110
営業外費用合計	925	997
経常利益	15,542	17,599
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	3,344	1,982
店舗売却益	69	21
退職給付制度改定益	—	6,988
その他	7	11
特別利益合計	3,421	9,005
特別損失		
固定資産売却損	50	14
固定資産除却損	94	165
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	122	254
会員権評価損	1	—
減損損失	80	318
その他	35	0
特別損失合計	383	751
税金等調整前四半期純利益	18,580	25,853
法人税等	5,746	8,178
四半期純利益	12,834	17,675
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,606	16,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,228	1,313

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,801	5,961
繰延ヘッジ損益	61	321
為替換算調整勘定	7,996	7,075
退職給付に係る調整額	△863	△2,489
持分法適用会社に対する持分相当額	139	74
その他の包括利益合計	4,532	10,941
四半期包括利益	17,366	28,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,614	26,884
非支配株主に係る四半期包括利益	1,753	1,732

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	87,215	12,741	34,836	35,305	35,643	205,740	—	205,740	79	205,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,825	356	131	78	2,726	7,115	—	7,115	△7,115	—
計	91,040	13,097	34,967	35,382	38,370	212,855	—	212,855	△7,036	205,819
セグメント利益又は 損失(△)	6,769	1,900	4,467	1,320	818	15,274	—	15,274	△950	14,324

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)等の損益△950百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、キーストーンナチュラルホールディングス社の株式を取得し、連結範囲に含めた事により、「海外食品事業」のセグメント資産が15,053百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、80百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、キーストーンナチュラルホールディングス社の株式を取得し、連結範囲に含めた事により、「海外食品事業」のセグメントにおいて、のれんが増加しております。なお、詳細については、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結 財務諸表 計上額 (注)2
	香辛・ 調味加工 食品事業	健康食品 事業	海外食品 事業	外食事業	その他 食品 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	92,057	13,019	41,714	41,067	37,757	225,613	—	225,613	84	225,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,029	309	223	91	3,180	7,832	—	7,832	△7,832	—
計	96,086	13,327	41,937	41,158	40,936	233,445	—	233,445	△7,748	225,697
セグメント利益又は 損失(△)	8,630	2,296	2,284	2,902	1,567	17,678	—	17,678	△1,009	16,669

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、主に当社において計上した不動産賃貸収益であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)には、事業セグメントに配分していない当社およびハウスビジネスパートナーズ(株)等の損益△1,009百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、店舗資産等の収益性の低下に伴う減損損失を、「外食事業」のセグメントにおいて、314百万円計上しております。また、遊休資産に係る減損損失を、各報告セグメントに配分していない「調整額」において、4百万円計上しております。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2022年9月30日に行われたキーストーンナチュラルホールディングス社との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行ってりましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額13,766百万円は、会計処理の確定により5,362百万円減少し、8,404百万円となっております。のれんの減少は、商品及び製品が12百万円、有形固定資産が374百万円、顧客関連資産が5,097百万円、繰延税金負債が680百万円増加し、固定負債のその他が559百万円減少したことによるものです。

また、前連結会計年度末は流動資産のその他が16百万円、のれんが4,742百万円、固定負債のその他が501百万円、利益剰余金が31百万円それぞれ減少し、有形固定資産が328百万円、顧客関連資産が4,609百万円、繰延税金負債が687百万円、為替換算調整勘定が23百万円それぞれ増加しております。

なお、のれんの償却期間は10年で、のれん以外に配分された顧客関連資産の償却期間は15年であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、2023年11月14日付の会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第370条及び当社定款の規定に基づく取締役会の決議に替わる書面決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、2024年1月10日に自己株式を取得しました。

1. 自己株式の取得に関する決議内容

- (1) 取得する株式の種類 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 733,100株（上限）
 (注) 発行済株式総数に対する割合 0.73%（小数点以下第三位を四捨五入）
- (3) 株式の取得価額の総額 2,200,033,100円（上限）
- (4) 取得することができる期間 2023年11月15日から2024年1月31日まで

2. 自己株式の公開買付けの概要

- (1) 買付予定の株券等の数
733,000株（上限）
- (2) 買付け等の価格
普通株式1株につき、金3,001円
- (3) 買付け等の期間
2023年11月15日から2023年12月13日まで
- (4) 公開買付開始公告日
2023年11月15日
- (5) 決済の開始日
2024年1月10日

3. 自己株式の公開買付けの結果

- (1) 応募株式の総数
666,400株
- (2) 取得した株式の総数
666,400株
 (注) 発行済株式総数に対する割合 0.66%（小数点以下第三位を四捨五入）
- (3) 株式の取得価額の総額
1,999,866,400円
 (注) 上記金額には、公開買付代理人に支払う手数料その他諸経費は含まれておりません。
- (4) 取得日
2024年1月10日

(取得による企業結合)

当社の連結子会社である(株)壺番屋は、2023年12月14日開催の取締役会において、(株)LFD JAPANの株式を取得し子会社とすることについて決議し、2023年12月28日に株式を取得いたしました。

これに伴い、当社は(株)壺番屋が保有する(株)LFD JAPANの株式を間接所有することとなり、(株)LFD JAPANは当社の連結子会社(孫会社)となります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 (株)LFD JAPAN
事業の内容 飲食店の経営

(2) 企業結合を行った主な理由

当社の連結子会社である(株)壺番屋は、「カレーハウスCoCo壺番屋」をはじめとする外食事業を、国内外で1,462店舗(2023年11月末時点)展開しており、既存店舗の活性化に加えて、新たな業態を開発・育成していくことでグループ力の強化と企業価値の向上を図ることを経営課題のひとつとしております。

一方、(株)LFD JAPANは、「博多もつ鍋前田屋」を福岡市内で4店舗経営しております。創業者の前田祐介氏は、「もつ鍋に、品格を」を軸としたブランド戦略を確立し、もつ鍋激戦区の博多エリアで着実に売上を伸ばし、店舗数は少ないものの博多もつ鍋を代表する人気店に育て上げてこられました。

(株)壺番屋といたしましては、「博多もつ鍋前田屋」の商品力や成長性が極めて高いものであり、同社の企業価値の向上に繋がるものであると判断し、(株)LFD JAPANを子会社としてグループに招き入れることといたしました。

(3) 企業結合日

2023年12月28日

(株)壺番屋の決算日は2024年2月29日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えていないため、(株)壺番屋の正規の決算を基礎として連結決算を行っております。そのため、今回の株式の取得は2024年3月期の期末連結財務諸表から影響を与える予定です。

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

51.0% (間接保有)

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社である(株)壺番屋が現金を対価として株式を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	2,462百万円
取得原価		2,462百万円

3. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

2022年9月30日付での米国キーストーンナチュラルホールディングス社との企業結合について、2024年3月期第1四半期連結会計期間に同社取得原価の配分(PPA)が完了いたしました。当会計処理の完了に伴い、前連結会計年度に係る各数値については、PPA完了の内容を反映させた金額を用いております。

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	23.3期 第3四半期		24.3期 第3四半期		23.3期 通期		24.3期 通期修正予想	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	205,819	107.2%	225,697	109.7%	275,060	108.6%	302,800	110.1%
営業利益	14,324	84.8%	16,669	116.4%	16,686	86.8%	20,000	119.9%
経常利益	15,542	83.9%	17,599	113.2%	18,300	86.6%	21,200	115.8%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	11,606	86.9%	16,362	141.0%	13,672	98.0%	18,000	131.7%
包括利益	17,366	115.4%	28,616	164.8%	15,965	74.0%	—	—

《事業セグメント別売上高の状況》

売上高	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	91,040	101.6%	96,086	105.5%	119,802	102.0%	128,000	106.8%
健康食品事業	13,097	115.4%	13,327	101.8%	16,520	114.5%	17,200	104.1%
海外食品事業	34,967	117.8%	41,937	119.9%	48,875	125.0%	57,300	117.2%
外食事業	35,382	106.1%	41,158	116.3%	48,371	106.5%	55,100	113.9%
その他食品関連事業	38,370	111.7%	40,936	106.7%	50,699	111.3%	55,600	109.7%
調整額	△7,036	—	△7,748	—	△9,206	—	△10,400	—

《事業セグメント別営業利益の状況》

営業利益	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比	金額	前期比
香辛・調味加工食品事業	6,769	66.2%	8,630	127.5%	7,915	62.7%	10,700	135.2%
健康食品事業	1,900	700.6%	2,296	120.8%	1,908	—	2,100	110.1%
海外食品事業	4,467	94.4%	2,284	51.1%	5,424	103.3%	4,000	73.8%
外食事業	1,320	139.5%	2,902	219.9%	2,268	151.0%	3,600	158.7%
その他食品関連事業	818	64.0%	1,567	191.5%	1,234	83.4%	1,900	153.9%
調整額	△950	—	△1,009	—	△2,062	—	△2,300	—

(2) グループ会社数

	23.3期 第3四半期	24.3期 第3四半期	23.3期 通期
連結子会社数	42社	43社	42社
国内	16社	17社	16社
海外	26社	26社	26社
持分法適用関連会社	5社	5社	5社
国内	2社	2社	2社
海外	3社	3社	3社

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	23.3期 第3四半期		24.3期 第3四半期		対前年同期増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
売上高	205,819	100.0%	225,697	100.0%	19,878	9.7%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	91,040	44.2%	96,086	42.6%	5,046	5.5%
健康食品事業	13,097	6.4%	13,327	5.9%	231	1.8%
海外食品事業	34,967	17.0%	41,937	18.6%	6,971	19.9%
外食事業	35,382	17.2%	41,158	18.2%	5,776	16.3%
その他食品関連事業	38,370	18.6%	40,936	18.1%	2,566	6.7%
調整額	△7,036	△3.4%	△7,748	△3.4%	△712	—
売上原価	132,165	64.2%	142,990	63.4%	10,825	8.2%
販売費・一般管理費	59,330	28.8%	66,037	29.3%	6,706	11.3%
営業利益	14,324	7.0%	16,669	7.4%	2,346	16.4%
《事業セグメント別》						
香辛・調味加工食品事業	6,769	3.3%	8,630	3.8%	1,861	27.5%
健康食品事業	1,900	0.9%	2,296	1.0%	396	20.8%
海外食品事業	4,467	2.2%	2,284	1.0%	△2,183	△48.9%
外食事業	1,320	0.6%	2,902	1.3%	1,582	119.9%
その他食品関連事業	818	0.4%	1,567	0.7%	749	91.5%
調整額	△950	△0.5%	△1,009	△0.4%	△58	—
営業外収益	2,144	1.0%	1,927	0.9%	△217	△10.1%
営業外費用	925	0.4%	997	0.4%	72	7.7%
経常利益	15,542	7.6%	17,599	7.8%	2,057	13.2%
特別利益	3,421	1.7%	9,005	4.0%	5,584	163.2%
特別損失	383	0.2%	751	0.3%	369	96.3%
税金等調整前四半期純利益	18,580	9.0%	25,853	11.5%	7,272	39.1%
法人税等	5,746	2.8%	8,178	3.6%	2,431	42.3%
四半期純利益	12,834	6.2%	17,675	7.8%	4,841	37.7%
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,606	5.6%	16,362	7.2%	4,756	41.0%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,228	0.6%	1,313	0.6%	85	7.0%
四半期包括利益	17,366	8.4%	28,616	12.7%	11,250	64.8%

② 販売費・一般管理費の主な増減内容

(単位：百万円)

	23. 3期 第3四半期	24. 3期 第3四半期	対前年同期増減
広告宣伝費	5,835	5,628	△207
運送費及び保管費	9,000	9,863	864
販売手数料	90	106	16
販売促進費	2,293	2,722	429
人件費	21,261	23,961	2,700
研究開発費	3,273	3,428	155
のれん償却額	33	683	649
その他	17,546	19,646	2,101
販売費・一般管理費計	59,330	66,037	6,706

③ 営業外損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	23. 3期 第3四半期	24. 3期 第3四半期	対前年同期増減
受取利息	200	238	38
受取配当金	448	488	40
持分法による投資利益	92	21	△71
受取家賃	657	662	5
為替差益	204	—	△204
補助金収入	243	—	△243
その他	301	517	216
営業外収益計	2,144	1,927	△217
支払利息	205	163	△42
賃貸費用	517	536	18
為替差損	—	173	173
訴訟関連費用	34	15	△18
その他	169	110	△59
営業外費用計	925	997	72

④ 特別損益の主な増減内容

(単位：百万円)

	23. 3期 第3四半期	24. 3期 第3四半期	対前年同期増減
固定資産売却益	1	3	1
投資有価証券売却益	3,344	1,982	△1,362
店舗売却益	69	21	△48
退職給付制度改訂益	—	6,988	6,988
その他	7	11	4
特別利益計	3,421	9,005	5,584
固定資産売却損	50	14	△36
固定資産除却損	94	165	71
投資有価証券売却損	1	—	△1
投資有価証券評価損	122	254	132
会員権評価損	1	—	△1
減損損失	80	318	238
その他	35	0	△35
特別損失計	383	751	369

⑤ 四半期の状況

《連結》

(単位：百万円)

	23.3期					24.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	66,324	67,507	71,988	69,242	275,060	70,453	72,371	82,873		225,697
前期増減	4,688	5,016	4,194	7,777	21,675	4,130	4,863	10,885		19,878
営業利益	4,970	2,662	6,692	2,363	16,686	4,914	3,153	8,603		16,669
前期増減	△720	△680	△1,163	22	△2,541	△56	491	1,911		2,346
経常利益	5,591	3,373	6,578	2,758	18,300	5,252	3,517	8,830		17,599
前期増減	△754	△618	△1,604	151	△2,825	△339	144	2,252		2,057
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,597	1,896	6,114	2,066	13,672	7,978	2,847	5,537		16,362
前期増減	△476	△1,241	△36	1,470	△284	4,381	951	△577		4,756
包括利益	3,999	6,218	7,149	△1,401	15,965	10,678	6,705	11,234		28,616
前期増減	△1,032	1,484	1,861	△7,929	△5,616	6,678	487	4,085		11,250

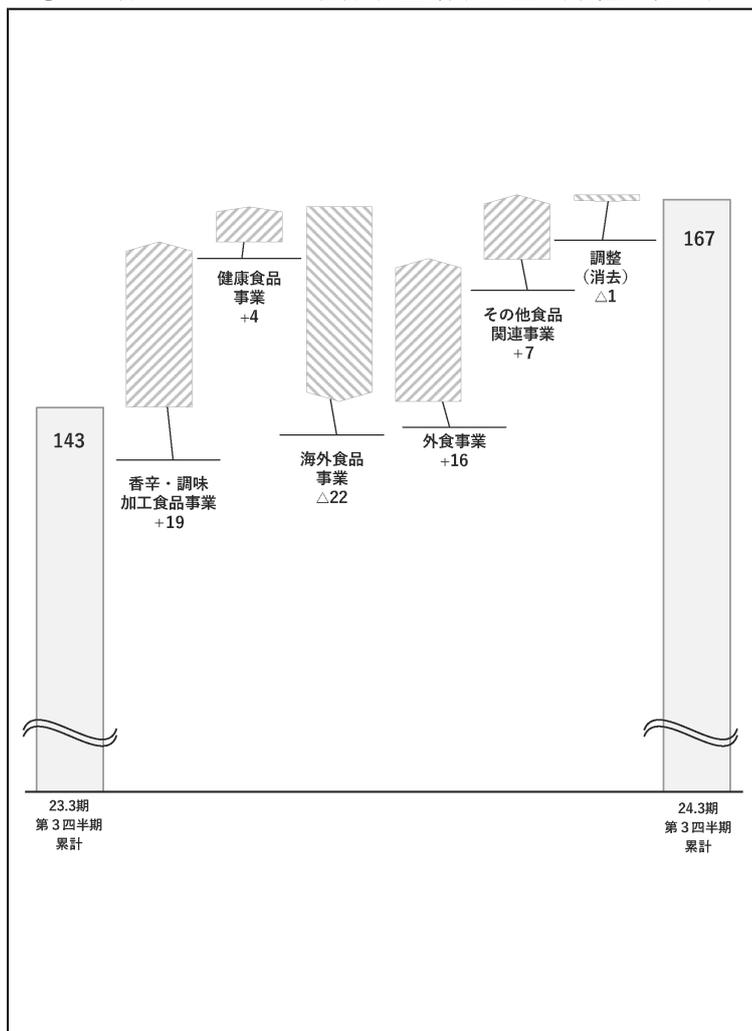
《事業セグメント別売上高》

	23.3期					24.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高										
香辛・調味加工食品事業	28,326	29,688	33,027	28,762	119,802	29,594	30,829	35,663		96,086
前期増減	694	354	387	945	2,380	1,269	1,142	2,636		5,046
健康食品事業	4,110	4,412	4,575	3,423	16,520	4,136	4,468	4,724		13,327
前期増減	759	723	270	335	2,087	26	56	149		231
海外食品事業	10,796	11,824	12,346	13,908	48,875	13,441	13,015	15,481		41,937
前期増減	984	2,197	2,105	4,479	9,764	2,645	1,191	3,135		6,971
外食事業	11,334	11,612	12,436	12,989	48,371	12,897	13,915	14,345		41,158
前期増減	208	633	1,194	915	2,950	1,563	2,303	1,910		5,776
その他食品関連事業	13,921	12,466	11,983	12,329	50,699	12,858	12,891	15,187		40,936
前期増減	2,246	1,274	506	1,102	5,128	△1,062	424	3,204		2,566
調整額	△2,163	△2,495	△2,379	△2,170	△9,206	△2,474	△2,747	△2,527		△7,748
前期増減	△204	△165	△268	1	△635	△311	△252	△149		△712

《事業セグメント別営業利益》

	23.3期					24.3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
営業利益										
香辛・調味加工食品事業	2,251	955	3,564	1,145	7,915	1,794	1,871	4,965		8,630
前期増減	△824	△1,372	△1,253	△1,264	△4,713	△457	917	1,401		1,861
ROS	7.9%	3.2%	10.8%	4.0%	6.6%	6.1%	6.1%	13.9%		9.0%
健康食品事業	465	611	824	8	1,908	589	641	1,065		2,296
前期増減	627	781	220	417	2,046	124	30	242		396
ROS	11.3%	13.9%	18.0%	0.2%	11.5%	14.2%	14.4%	22.6%		17.2%
海外食品事業	1,747	1,359	1,361	957	5,424	1,175	△79	1,188		2,284
前期増減	△236	115	△146	441	174	△572	△1,438	△173		△2,183
ROS	16.2%	11.5%	11.0%	6.9%	11.1%	8.7%	△0.6%	7.7%		5.4%
外食事業	193	454	673	948	2,268	930	877	1,095		2,902
前期増減	△158	278	253	392	766	737	423	422		1,582
ROS	1.7%	3.9%	5.4%	7.3%	4.7%	7.2%	6.3%	7.6%		7.1%
その他食品関連事業	362	158	297	416	1,234	532	555	480		1,567
前期増減	△109	△170	△182	215	△245	170	397	182		749
ROS	2.6%	1.3%	2.5%	3.4%	2.4%	4.1%	4.3%	3.2%		3.8%
調整額	△47	△876	△27	△1,112	△2,062	△106	△712	△190		△1,009
前期増減	△21	△313	△55	△179	△568	△59	164	△163		△58

⑥ 事業セグメント別営業利益増減要因 (単位：億円)



単位：億円	対前年増減額
香辛・調味加工食品事業	+19
売上高変動※	+20
原価率変動※	Δ4
マーケティングコスト※	+6
その他経費※	Δ3
関連会社、調整	Δ0
健康食品事業	+4
売上高変動	+1
原価率変動	Δ1
マーケティングコスト	+1
その他経費	+2
海外食品事業	Δ22
米国事業	Δ7
中国事業	Δ3
東南アジア事業	Δ12
貿易他	+0
外食事業	+16
売番屋(連結)	+16
その他食品関連事業	+7
デリカシェフ	+3
ヴォークス・トレーディング(連結)	+5
調整(消去)	Δ1
連結営業利益増減	+23

※ハウス食品・ハウスギャバンの実績を対象に算出

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	23.3期末		24.3期 第3四半期末		対前期末 増減	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
流動資産	154,924	39.0%	169,773	39.6%	14,848	受取手形及び売掛金の増加 11,634 現金及び預金の増加 2,371 商品及び製品の増加 1,326
固定資産	241,986	61.0%	258,860	60.4%	16,874	投資有価証券の増加 7,631 建物及び構築物の増加 5,485 退職給付に係る資産の増加 4,688 機械装置及び運搬具の増加 4,060 建設仮勘定の減少 △5,736
資産合計	396,910	100.0%	428,633	100.0%	31,723	
流動負債	56,654	14.3%	62,362	14.5%	5,708	支払手形及び買掛金の増加 3,384 その他の流動負債の増加 2,290 未払法人税等の増加 1,463 未払金の減少 △2,043
固定負債	38,921	9.8%	42,363	9.9%	3,443	繰延税金負債の増加 3,347
負債合計	95,575	24.1%	104,725	24.4%	9,150	
株主資本合計	240,925	60.7%	252,845	59.0%	11,919	利益剰余金の増加 11,874 自己株式の減少 24
その他の包括利益 累計額合計	31,359	7.9%	41,881	9.8%	10,522	為替換算調整勘定の増加 6,782 その他有価証券評価差額金の増加 5,952 退職給付に係る調整累計額の減少 △2,486
非支配株主持分	29,050	7.3%	29,181	6.8%	131	
純資産合計	301,335	75.9%	323,907	75.6%	22,572	
負債純資産合計	396,910	100.0%	428,633	100.0%	31,723	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	23.3期 第3四半期	24.3期 第3四半期	24.3期 通期見込
設 備 投 資	9,487	9,268	15,000
リ ー ス	398	379	400
合 計	9,885	9,647	15,400

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	23.3期 第3四半期	24.3期 第3四半期	24.3期 通期見込
減 価 償 却 費	8,417	9,333	12,900
支 払 リ ー ス 料	221	414	500
合 計	8,639	9,746	13,400

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めておりません。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	23.3期	24.3期 第3四半期	24.3期 通期修正予想
一株当たり四半期(当期)純利益	139.63円	167.74円	185.04円
一株当たり純資産	2,791.56円	3,021.39円	2,899.62円
総資産回転率	0.71回	—	0.76回
売上高営業利益率	6.1%	7.4%	6.6%
E B I T D A マージン	10.4%	11.8%	11.1%
売上高経常利益率	6.7%	7.8%	7.0%
総資産営業利益率	4.3%	—	5.0%
自己資本当期純利益率	5.1%	—	6.5%
自己資本比率	68.6%	68.8%	69.4%
一株当たり配当金	46.00円	—	46.00円
配当性向	32.9%	—	24.9%
利益配分の基本方針に基づく配当性向	32.4%	—	23.7%

◎利益配分の基本方針：

企業結合に伴い発生する特別損益やのれん償却の影響を除く連結配当性向30%以上

従 業 員 数	23.3期	24.3期	24.3期
	6,502人	6,669人	—

◎休職者・パートを含みません。

(8) 参考情報

① 国内市場規模 (ハウス食品調べ)

(単位：億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
ルウカレー	553	529	513	505	469	472
ルウシチュー	210	196	189	189	181	185
ルウハヤシ	71	71	71	73	66	64
レトルトカレー	671	707	753	789	787	819
スパイストータル	823	859	884	1,006	970	934

② ルウカレー市場動向 (S R I +)

2024.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	累計
マーケット 全体	平均売価	216円	235円	238円		225円		229円
	前年差	+24円	+39円	+26円		+31円		+30円
ハウス食品	平均売価	222円	246円	245円		234円		237円
	前年差	+32円	+49円	+28円		+40円		+37円
	金額シェア	59.4%	60.8%	61.5%		60.1%		60.6%

出典：(株) インテージ S R I + 月次データ (2023.4-2023.12)

③ 事業別動向 (売上高前年比)

2024.3期		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	上期	下期	累計
香辛・調味加工食品事業 (ハウス食品)								
ルウカレー	※1	103.7%	104.3%	112.9%		104.0%		106.7%
レトルトカレー	※1	107.6%	91.2%	100.5%		98.7%		99.3%
ルウシチュー	※1	102.8%	96.4%	98.2%		98.3%		98.3%
スパイス	※1	104.6%	100.7%	106.5%		102.6%		104.0%
健康食品事業 (ハウスウェルネスフーズ)								
ウコンの力	※1	114.4%	122.5%	116.0%		118.4%		117.4%
C1000	※1	98.3%	104.6%	104.5%		101.5%		102.5%
1日分のビタミン	※1	106.2%	92.8%	91.7%		98.3%		96.2%
海外食品事業 (現地通貨ベース)								
米国事業		158.4%	152.3%	150.3%		155.5%		153.7%
中国事業		114.6%	108.2%	95.0%		111.2%		105.0%
タイ機能性飲料事業		54.2%	39.7%	93.9%		46.5%		59.2%
外食事業 (老番屋)								
国内全店売上高		112.1%	113.6%	114.1%		112.9%		113.3%
国内既存店売上高		112.9%	114.3%	115.0%		113.7%		114.1%
客数		101.1%	103.8%	105.4%		102.5%		103.5%
客単価		111.7%	110.1%	109.1%		110.9%		110.3%

※1 製品別実績は出荷ベースの参考値